

科目ナンバリング		U-LAS14 20006 LJ68										
授業科目名 <英訳>		動物自然史II Natural History of Animals II					担当者所属 職名・氏名		地球環境学舎 教授 西川 完途			
群	自然科学科目群				分野(分類)	生物学(各論)				使用言語	日本語	
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）					
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金1			配当学年	主として1・2回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
無脊椎動物を題材として、自然界に存在する動物の多様性の実態、進化や基礎的な生活史を紹介する。特に生活に関係するさまざまな食材や、エネルギーや建材などに関わる生物については詳しい解説を行う。それらの講義を通じて生物多様性の保全の意義や問題についても理解することを目的とする。												
[到達目標]												
無脊椎動物の多様性についての基本的事項や実態について学び、それらの進化史について理解できるようになる。												
[授業計画と内容]												
以下の項目について授業をする予定である。 第1週：イントロダクション 第2週：生命の起源と多細胞動物の進化 第3週：動物系統分類の基礎知識 第4週：海綿動物 第5週：刺胞動物 1（ヒドラ） 第6週：刺胞動物 2（クラゲとサンゴ） 第7週：扁形動物 1（プラナリア） 第8週：扁形動物 2（寄生虫＝吸虫、条虫） 第9週：擬体腔動物 1（ワムシ） 第10週：擬体腔動物 2（線虫、回虫） 第11週：軟体動物（貝） 第12週：環形動物（ゴカイ、ミミズ） 第13週：節足動物（昆虫 1） 第14週：節足動物（昆虫 2） 第15週：フィードバック												
[履修要件]												
高校で生物を履修しなかった者、文科系学生にも理解できる内容なので、履修要件はとくにない。動物自然史I（隔年開講につき2025年度は不開講）の履修を推奨する。												
[成績評価の方法・観点]												
平常点（出席状況）とレポート試験の結果による。その評価方法や比率などは初回授業にて説明する。												
----- 動物自然史II(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----												

動物自然史II(2)

[教科書]

使用しない

プリントを配布する（Pdfまたは、希望者には打ち出したもの）。

[参考書等]

（参考書）

馬渡（編集）『動物の自然史』（北大図書刊行会）

岩槻, 馬渡『生物の種多様性』（裳華房）

白山義久『無脊椎動物の多様性と系統』（裳華房）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前には授業内容の動物群や分類群の概要を調べ学習しておき、授業後は授業の要点を整理して復習することが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

随時メールにてコンタクトを取って下さい。研究室訪問・質問・相談歓迎いたします。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部、理学部